


せんとうき

館報 尖頭器



「尖頭器」とは主に旧石器時代に使われた狩猟具です

旧石器ハテナ館
 史跡田名向原遺跡
 旧石器時代学習館
 TEL042-777-6371
 平成22年5月25日
【第5号】

大人気! 体験教室で楽しく学習しよう!

【毎月第3日曜は定例体験教室の日】

旧石器ハテナ館では、毎月第3日曜に定例体験教室を開催しています。内容は勾玉、土器、石器、矢じり作りの4種類で、体験を通して古代人の生活に触れることができます。参加者は小学生が中心ですが、大人も参加できますので、興味のある方はふるってご参加ください。尚、申込開始日は開催月の1日からで、定員は30名です。詳細につきましては当館まで直接お問い合わせください。

— 今後の定例体験教室 —

日時	体験内容	費用
6/20・14時～	土器作り	300円
7/18・14時～	矢じり作り	100円
8/15・14時～	勾玉作り	300円
9/19・14時～	石器作り	無料

4/18 開催 勾玉作りの様子



←集中して勾玉作りに取り組んでいます。世界に1つだけしかないオリジナル勾玉が完成!!

5/16 開催 相模川で石器作りの様子



←河原の石を使って石器作り。石がうまく割れるたびに「キーン!」と高音が河原に響き渡りました。

大好評!

出土石器群 県重要文化財指定記念 講演会

ハテナ館と地域をつなぐ会による石垣団子提供

あっという間に完売!

4月29日(祝)に田名向原遺跡住居状遺構出土石器群の県重要文化財指定記念講演会が行われました。講師の県教育委員会文化遺産課の御堂島氏により、石器の特徴の講演と石器製作実演が行われ、特に石器製作実演では、黒曜石の小破片が当たらないか心配になる程身を乗り出す方もいました。

また、当日は来場者に田名塩田地域をさらに知っていただくため、地元有志で結成された「ハテナ館と地域をつなぐ会」による、石垣団子の格安提供がありました。石垣団子はサイの目状のサツマイモを粉と混ぜ蒸した昔のおやつです。午後から提供を始めたところ大好評で、団体客が来場したこともあり、あっという間に完売してしまいました。今後もイベント行ない、来場者に喜んでもらえる企画を検討し、田名塩田地域と旧石器ハテナ館の普及を図る予定です。



石器製作実演



石垣団子

新緑と爽風の中での遺跡探訪

5月4日(火)「みどりの日」に、ハテナ館主催の「田名向原遺跡から勝坂遺跡への探訪」を実施しました。今回の遺跡探訪は、「史跡勝坂遺跡公園開園記念」として行ないました。参加募集については市の広報やホームページ、館報等で行なった結果35名の希望者がありました。今年のGWは大型連休で、天気にも恵まれるという予報であったので、少々参加者が減るのかな…という心配もありましたが、申し込まれた方のほぼ全員が参加され、主催した館としてはとてもありがたかったです。午前10時にハテナ館に集合し、受付やコース、注意等の後、いよいよ出発です。天気も良く、緑が一杯で初夏の感を一層深めていました。

今回の探訪コースをここに紹介したいと思います。

◎谷原古墳→金山神社→市場天満宮→当麻山無量光寺→浅間神社・原当麻城山→さいかちの木・八景の棚→三段の滝(大凧見学)→上磯部の土塁→磯部八幡宮→勝坂遺跡(昼食)午後→勝坂遺跡公園(柄鏡形敷石住居・笹葺き住居・土葺き住居)見学→旧中村家住宅の見学でした。各場所に到着すると、市文化財保護課の職員やハテナ館の担当者から遺跡にまつわる話や説明があり、参加者の中には熱心にメモをとる人や質問をされる人もいました。

探訪で心に残ったものとして、市場の天満宮(延久5年に創建、祭神は菅原道真公で鎌倉時代後期の懸仏が残っている)や、原当麻城山(小田原北条時代の狼煙台の伝承がある)、上磯部の土塁(市の登録史跡で磯部城と

学習指導員 大塚 靖夫

の関係が深い)、磯部八幡宮の不動明王、勝坂遺跡、旧中村家住宅(国登録有形文化財:幕末期の和洋折衷建築で、太くて黒ずんだ大黒柱や海鼠「なまこ」壁)等が強く印象に残りました。旧中村家を最後に一路、ハテナ館に向かって相模川沿いに歩きましたが、途中、三段の滝付近で上磯部の大凧揚げの様子を見ました。大凧揚げは風もなく苦勞されていました。歩きながら、参加された方々の交流も深まったようです。約6時間の行程でしたが、全員元気にハテナ館に午後4時に到着しました。目に優しい新緑と爽やかな風に吹かれての素晴らしい遺跡探訪の一日でした。



市場天満宮

- ・延久5年創建
- ・祭神 菅原道真公
- ・鎌倉時代後期の懸仏がある

上磯部の大凧揚げ

- ・当日は川風も弱く、関係者の方は苦勞されていました。



旧中村家住宅

- ・国登録有形文化財
- ・幕末期の和洋折衷住宅

日頃の子どもの活動の様子

ハテナ館が開館して1年が過ぎました。市民の方々や地域の人に愛され、予想を超える来館者に感謝しています。そして、何回も足を運んで頂ける館のあり方や小・中学生に興味や関心を持ってもらい、魅力あるハテナ館にしたいと考えています。それには館を身近なものにしていく事や、館の環境を整えていく事が大切であろうと思いました。「環境が人を育てる。その環境は人が作る」という言葉通りです。私たち指導員は、創意と工夫と思いつきを生かしながら、子ども達の目線に沿った雰囲気作りに心がけました。

展示は旧石器時代や住居状遺構についてのものが中心でしたが、子ども達が興味を示すような展示が整ってきました。館の入り口には高さ2.1m、体長1.8mのワラで作ったヘラジカが迎えてくれます。館内には水槽があります。子ども達はまず水槽の中をじっと覗き込みます。しばらくの間、赤腹イモリやどじょう、ハヤの動きを観察した後、積み木で遊んだりぬりえ等をします。ある時、子ども達はどんな感想を持っているのだろうか、と考えるようになり簡単な感想文が書けるコーナーとポストを用意しました。嬉しいことに「楽しい」「勉強になった」「また来ます」等の文が書いてあり、ポストを開けるのが楽しみになりました。こうした日常活動は、子ども達の表現活動として、とても大切な事かな…と思います。



館の感想を書く子ども達

これからも館の創意と工夫、思いつきを大切にしていきたいと思っています。